

第48回青梅市公共交通協議会議事要旨

日 時 令和5年9月1日（金） 午後2時30分から午後4時まで

会 場 青梅市 行政棟3階 教育委員会会議室

出席委員 15名、代理1名

宮口会長、佐々木座長、青木委員、増田委員、若田委員、黒田委員、秦野委員、貫井委員、倉科委員、高橋委員、舟窪委員、木崎委員、小山委員、玉野委員、加藤委員、鈴木委員（染谷代理）

傍聴者数 3名

配付資料

議事次第

青梅市公共交通協議会委員名簿

資料1 報告・協議資料

資料2 協議資料2

参考資料 河辺町1～3丁目地区におけるグリーンスローモビリティの実証運行に関する地元自治会との協議結果

議 事

- (1) 委員の改選
- (2) 会長および座長選出

1. 開会

2. 議題

【報告事項】

- (1) 前々回と前回協議会の振り返り
- (2) JR 青梅線のマイレール意識醸成について
- (3) 三鷹市井の頭地区小型EVバス事業（グリーンスローモビリティ）視察について

【協議事項】

- (1) 公募委員の承認について
- (2) 第56回青梅産業観光まつりへの出展について
- (3) 河辺町1～3丁目地区におけるグリスロ実証運行計画（案）について

3. 閉会

(1) 委員の改選（委員自己紹介）

(2) 会長および座長選出

委員の互選により、青梅市自治会連合会会長の宮口委員を会長に選出

会長指名により、早稲田大学理工学術院教授の佐々木委員を座長に選出

1. 開会

協議会成立の確認

欠席委員紹介（大栗委員、佐野委員、石坂委員）

傍聴者許可（3名）

2. 議題

【報告事項】

○座長

報告事項（1）から（3）について、一括して事務局から説明願います。

（1）前々回と前回協議会の振り返り

（2）JR青梅線のマイレール意識醸成について

（3）三鷹市井の頭地区小型EVバス事業（グリーンスローモビリティ）視察について

○事務局

資料1の2～10ページを説明

○座長

ありがとうございました。ご意見、ご質問はありますか。

○委員

三鷹市のグリーンスローモビリティの車両の値段はいくらくらいですか。

○事務局

1台あたり約300万円台から500万円台だと思われます。

○座長

青梅線車内絵画展の作品募集期間は9月上旬までと、締め切りが近いですので、参加対象者でお知り合いの方がおられたら、お声かけいただき応募してください。

【協議事項】

○座長

では協議事項に入ります。まず公募委員の承認について事務局から説明願います。

（1）公募委員の承認について

○事務局

資料1の11ページを説明

○座長

選考過程は適切だったと思いますが、いかがでしょうか。

—異議なし—

○座長

それでは改めて、加藤さんを委員として承認することとします。

続いて協議事項2を説明願います。

(2) 第56回青梅産業観光まつりへの出展について

○事務局

資料1の12・13ページを説明

○座長

ご意見、ご質問はありますか。展示に向けて各交通事業者にご協力いただきたいとのことです、よろしくお願いいたします。

電動キックボードの展示および試乗会について、公共交通との関係、また趣旨を教えてください。

○事務局

電動キックボードは地域公共交通計画のなかで、公共交通の末端交通手段、ラストワンマイルでのパーソナルな交通サービスと位置づけています。また今年7月の道路交通法の改正で、電動キックボードのルールが変更されたことから、交通安全という視点から市民に周知していきたいと考えております。警視庁青梅警察署の協力をいただきながら進めていければと思います。

○座長

電動キックボードが公共交通とうまくジョイントし、公共交通の利用促進につながる趣旨とのこと。また、安全性の周知は重要なことです。展示して試乗してもらうだけではなく、趣旨を明確にして取り組んでもらえればありがたいと思います。

つづいて、東京都のパネル展示の内容はどのようなものですか、昨年と同様のものでしょうか。

○事務局

今回の青梅産業観光まつりへの出展は東京都都市整備局交通企画課に支援を頂き実施を予定しています。内容は調整中ですが、モビリティ・マネジメントの一環としての展示を予定しています。

○座長

前々回の協議会でも申し上げましたが、脱炭素やエネルギー価格の高騰を含め、公共交通の利用につながる話があると思われしますので、是非ご用意いただければありがたいと思います。

○委員

公共交通を利用してもらうことが大事なことですが、青梅産業観光まつりでの展示は青梅市の公共交通を知ってもらう取り組みの一つであるという理解でよいでしょうか。

○事務局

脱炭素やエネルギー価格の高騰などのトピックも盛り込みながら、青梅市の公共交通の現状と利用促進につながるような内容の構成にしていきたく考えています。

○座長

市民に公共交通を知ってもらうことは大事です。青梅産業観光まつりの出展に関しては、交通事業者などの協力が必要であるということなので、よろしく願いいたします。

協議事項3について、説明願います。

(3) 河辺町1～3丁目地区におけるグリスロ実証運行計画(案)について

○事務局

資料2および参考資料について説明

○座長

内容について、何かありますか。

○委員

実証運行の期間が10月から11月の2か月間となっています。異常気象等もあり、年間を通じた変化を考慮し、運行期間をもっと長くした方が良いのではないかと思います。

○事務局

今年1月末に2日間試乗会を開催しましたが、一年で最も寒い時期でした。これを踏まえ、今年度の実証運行は気候のよい秋期を選定しました。

また、運行期間は市の予算の範囲で最大限実施できる2か月としました。

○委員

東京都からの支援について、内容はなんでしょうか。

○事務局

運行に関する直接的な補助はありませんが、資料2の11ページにあるように、実証運行後に各調査結果の分析をしてもらうことになっています。

また、今年度の各種取り組みについて、情報共有しながら助言を頂くことになっています。

○委員

今年1月の試乗会では4人乗りでしたが、今回も同じタイプで、値段の違いはあるのでしょうか。また、試乗会では車両の両側がオープンになっていましたが、改善策はあるのでしょうか。

○事務局

まず、車両については今回もレンタルで、1日あたり約1万5千円です。試乗会では2日間2台のレンタルで20万円ほどでした。

次に、試乗会の車両は2列の4人乗りでしたが、今回は3列の7人乗りです。

側面の覆いについては、エンクロージャーと呼ばれるビニール製の垂れ幕のようなものがあり、雨天時はそれを下ろして運行します。

○委員

市立総合病院の停留所は路線バスの停留所を使いますか。

○事務局

都営バスの「総合病院前」バス停は使いません。

○委員

タクシーと同じように直接、病院内の玄関口まで入る予定ですか。

○事務局

そうです。敷地内での乗降についてこれから調整していきます。

○委員

停留所にはポールのような標識を設置するイメージですか。

○事務局

停留所では、壁などに表示板のようなものを掲示したいと考えています。

○委員

河辺駅南口の停留所は具体的に決まっていますか。ロータリーの中には入りますか。

○事務局

河辺駅南口の停留所は、ロータリーに入らない方向も含め、調整しています。エスカレータ付近など、駅へのアクセスが良いところを確保しようと検討しているところです。

○委員

運行期間は2か月ですが、好評で延長するようなことはありますか。

○事務局

予算の都合上、2か月が限度であり、延長することはできません。

○委員

今回の実証運行について、運賃を無料とした経緯を教えてください。また、運行区間について本来の目的は河辺町1～3丁目の移動手段の確保だと理解していましたが、市立総合病院を加えた理由を教えてください。

河辺駅南口と市立総合病院を結ぶ区間は人流が多いところで、少なからず路線バスが近辺を走行しているということがありますので、需要が多いところを無料で運行されると、本来の目的である河辺町1～3丁目と駅を結ぶ区間よりも乗客が多くなるのではないかと想像します。

このような懸念があることから、ルートを選定や運賃の取り扱いについて、本運行に向けての考え方も含めてご説明願います。

○事務局

今年度は無料にすることで、まずはニーズを探ることを目的としています。本運行に向けては、今年度の状況を分析した上で、来年度、もう一步踏み込んだ実証運行を考えています。具体的には運賃を徴収する形を想定しており、本協議会で運賃について協議をして頂いたうえで関東運輸局に認可を得た運行を想定しています。

病院ルートは、11月に市立総合病院の新病棟が完成することもあり、通院者等のニーズが増えるのではと考えています。この区間を走る路線バスが運行していることを考慮し、運行時間については十分配慮します。

なお、河辺町1～3丁目の住民からの要望も踏まえ、河辺町1～3丁目から直接病院に向かう便も設定する予定です。

○委員

ルートについては理解しました。ただ、一定期間とは言え、特定の地域だけに無料でサービスを提供することに違和感があります。無料での実証運行は今回限りにしてほしい。また、今回は実証運行期間につき無料ということ、強調してお知らせして頂ければありがたいと思います。

○事務局

頂いた意見を踏まえ、取り組んで参ります。今回のように新たな公共交通モードを導入する際は、持続可能なものにすることが必要であると思います。今後、きちんと運賃を支払って利用される継続的な公共交通になるようにしたいと考えます。

○委員

東ルートについて、南白はげ公園の北側にある河辺市民センターを起点とするという考えはどうでしょうか。

○事務局

河辺市民センターに至る路線について、検討はしましたが、走行距離が長くなり、1時間に1便のダイヤがうまく組めませんでした。

○委員

自分が住んでいるところは路線バスで市役所に直接行けません。地元の住民としては、身近な行政サービスを受けられる施設へのアクセスが重要となります。

河辺町1～3丁目地区の住民も、身近な行政サービスを受けられる施設である河辺市民センターに行きたいのではないかと思った次第です。

○事務局

今回は1台での運行ということで限られたエリアとなりますが、本運行で複数台の車両での運行が可能になれば、結ぶ拠点を広げていけるのではないかと考えています。

○委員

運行が成り立っている仕組みについて教えてください。車両をどこに保管し、点検や整備などの管理はどうするのでしょうか。道路運送法に位置づけられないということは、道路運送法上の運行管理体制との関係はどうなっているのでしょうか。運賃は無料とのことですが、運転士の人件費や車両費はどこが負担するのでしょうか。

また、無料の実証運行が終了したあと、本運行時は有料という流れに疑問があります。事業の継続性を判断するためには、有料での実証運行という段階が必要ではないでしょうか。

○事務局

車両の不具合が発生した場合は、JAFに対応してもらうことになっています。

実証運行から本運行への流れについては、来年度は有料の実証運行を考えております。

実証運行中、車両は市立総合病院駐車場に保管します。また、運転士の人件費は、車両のレンタルや調査を含めて一体で本協議会の予算でまかないます。

○委員

西ルートでは、シルバー人材センターの手前は狭隘道路ですが、敷地内でUターンすることになりますか。また、雨天時にはビニールシートで対応することとなっていますが、荒天となるとどこまで対応できるのか、もしくは運行中止もあると思われ、その場合にはどう周知していくのですか。

○事務局

シルバー人材センターでは敷地内での折返しを基本に、閉館日などはシルバー人材センター向かいの駐車場にて折返しを行います。

荒天時の運休については、運行までに情報を収集しながら、一定の判断基準を持って対応していきます。

○委員

資料2の16ページ、アンケートの間16について、来年度の実証運行、そのあとの本運行に向けて、運賃の支払い方法だけでなく、具体的な料金についても聞いた方がいいと思います。

○事務局

金額についても聞くように検討します。

○委員

無料だけでは持続可能性は見えてこないなので、有料での運行を通して運賃対価の検討が必要です。

グリーンスローモビリティは各地で運行が始まっていますが、空調が無いので乗務員の体調が心配です。事業者として乗務員の体調管理は非常に重要なことです。しっかりと今後議論していくべきことだと思われます。

○事務局

本運行となると通年の運行になります。ご指摘の点は重要なことですので、しっかりと検討していきます。

○座長

今回はまず、1回は使ってもらうことを目的として無料で実施してみるということです。2か月という期間は予算の範囲内とはいえ、何回か使ってもらえる可能性があり妥当な期間と考えます。一方で、実証運行のことを知らずに一度も利用せず終了してしまったということにならないよう周知してください。そのうえで、利用してもらった上で感想を聞くことができれば良いと考えます。通年の運行を考えれば夏や冬は使われないかもしれませんが、今回は、とにかく使ってもらうことを目的として気候の良い秋に実施するということです。

利用者アンケートは工夫してほしい。何度も回答する人がいることを想定して、今回は何回目ですか、という設問を入れるとよいでしょう。また、どういう使われ方なのか、市立総合病院だけではなく本来の河辺町1～3丁目で使われたことが把握できるアンケートにしてください。

最後に、小学生を対象とした公共交通利用の意識醸成は良い取り組みです。小学生の頃から公共交通を利用することを植えつけないと、その後は利用してもらえなくなるので、とても重要な取り組みです。

以上で本日の協議を終了いたします。ありがとうございました。進行を会長にお返しします。

○会長

委員の皆様にも、熱心な御議論をいただき、ありがとうございました。皆様の御協力により、円滑に議事を進めることができました。最後に事務局より連絡事項をお願いします。

○事務局

今年3月に青梅市地域公共交通計画が策定されました。また、4月から本協議会の事務

局として交通政策課が新たに発足しました。市では、本協議会と連携し、持続可能な公共交通の実現を目指して各種施策に取り組んでまいります。

次回の本協議会は、12月頃に開催を予定しております。委員の皆様には後日開催通知を送付しますので、お忙しいところ大変恐縮ですが、よろしくお願いいたします。

○会長

結びになりますが、グリーンスローモビリティの実証運行や、青梅産業観光まつりへの出展について皆様のご理解とご協力をお願いします。

以上をもちまして、第48回青梅市公共交通協議会を閉会といたします。ありがとうございました。

以 上